

# 週目点



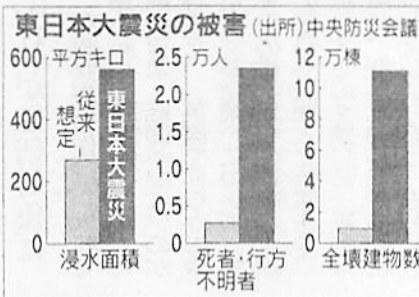
早稲田大学教授

川本 裕子

9月1日は「防災の日」。  
88年前のこの日、関東大震災  
が起きた。台風など暴風雨が  
吹き荒れることの多い季節と  
いうこともあるのだらう。各  
地で防災訓練などが実施され  
る。さらに、今年は特別の年  
であることは論をまたない。  
3月11日の東日本大震災は、  
いまだに深い傷痕を我が国社  
会に残したままだ。

政府の中央防災会議でも今  
般の地震の教訓をどのように  
生かすかについて、専門調査  
会を設置して検討している。

6月の「中間とりまとめ」で  
は、地震の規模や津波の高さ  
・強さ、浸水範囲の広さ、地



## ▶ 防災の日(1日)

# 「想定外」減らす努力を

盤沈下の範囲や人的物的被害  
の大きさなど、すべてにわた  
って従来の想定を超えるもの  
であったとし、その過小な想  
定が被害を拡大した可能性も  
率直に認めている。

869年の貞観三陸沖地震  
など、発生したことが分かっ  
ていても地震動や津波の大き  
さが再現できなかったものは、  
これまで確度が低いとみな  
なして想定から外していたと  
反省している点も重要だ。「再  
現が可能かどうか」はデータ  
の収集と解釈にかかってお  
り、発生確度とは論理的には  
つながらない。過去の発生の  
事実が確かなのであれば、当  
然何らかの形で防災の地震想  
定として活用すべきだったは  
ずである。

国家でも企業でも、リスク  
管理とは「想定外」をいかに  
減らすかという経営努力だろ  
う。既存の発想にとらわれな  
い率直さ、あらゆる可能性を  
探る柔軟性、将来を見据えた  
危機感などが必要だ。一日も  
早い新たな防災対策策定が望  
まれる。